

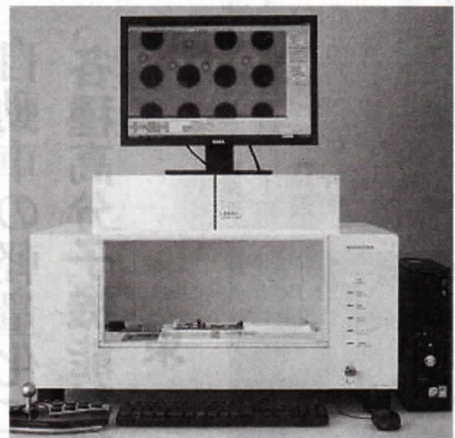
小型部品や基板の検査に最適な

『FLEX-M863』など 各種X線透視装置

ビームセンス

ビームセンス(大阪府吹田市泉町二一九一六、画素を横15000×縦10061・六三八四一九五六〇〇に並べた150万画素三)は、一月十五日〜十七日まで東京ビッグサイトで開催された「ネブコンジャパン」に、「スマートレン」をテーマとして「FLEX-M863」を

始めとする各種マイクロX線透視装置などを出展、好評を博した。「FLEX-M863」は、小型部品や基板のX線検査(透視、断面撮影、3D)に最適な卓上型のマイ



FLEX-M863



FLEX-M345

550(H)という世界最小クラスのX線透視装置。小型部品や基板のX線総合検査(透視・3D断面・3D立体)に最適である。

同装置には、自動位置指示システムや電動ズーム・電動チルト機能が内蔵されており、作業工程や実験機

で見たい方向からのX線透視を簡単に行える。コンパクトサイズながら画素20μmで1500(横)×1000(縦)の150万画素平面撮像CCDセン

サを採用しており、幾何倍率10倍で2μmの分解能に計測するソフトウェアなどより再現性の良いX線画像を撮影可能。オプションの3DCT画像を利用する

と、はんだ状態を立体的に表示し、ハンタ内部の断面

用も容易となる。

操作性も大型の特殊X線遮蔽ガラスを上面と前面扉に配置することで極めて良好。内蔵された十字レーザーラインマーカーにより、内部サンプルの確認や撮影の位置合わせが簡単に行える。

また、Z軸の左右の高さを変えることにより、テーブルの角度を土約17度可変させることを可能にして

いる。このため上下に重なりあった部分の情報を得ることが可能。遮蔽ガラスを除いて鉛フリーとなっている他、使用電力も150Wと超低消費量となっているなど環境にも配慮されている。

「FLEX-M345」は、3500(W)×4500(D)×

状況を詳しく観察することが可能。

「FLEX-MH867」は、強力なX線により15mm厚までの鋼板を透視できるX線透視装置。溶接

の検査(透視・3D立体CT)に最適な仕様となっている。

FLEX-M345と同様の優れた操作性で効率的に検査作業を行うことが可能。溶接の品質管理を強力にサポートする。

同展示会にはこれらの製品の他、3次元CT画像を計測するソフトウェアなども出展され、こちらも注目を集めた。

http://www.beamsense.jp

